

1997年(平成9年)11月8日 土曜日

(3)☆

(第3種郵便物認可)

福祉に全力投球

④

県会議員が歩行器か。活動促進法認定企業に応募する。合格すれば真の信用保証協会の保証で二千万円まで無担保、無利息で銀行から融資が受けやうたいなら後押しすると言ってくれた。しかし治療が決まった手前、どうしても「やりたい」の歩行器はデビュー。銀行ひと言が言えず、政治家三行も融資に名乗りを上への夢は消える。

その時、滝沢は最後までやり抜くしかない覚悟を決める。金融機関に借金の返済延期を頼みに走り、中小企業創造

活動促進法認定企業に応募する。合格すれば真の信用保証協会の保証で二千万円まで無担保、無利息で銀行から融資が受けやうたいなら後押しすると言ってくれた。しかし治療が決まった手前、どうしても「やりたい」の歩行器はデビュー。銀行ひと言が言えず、政治家三行も融資に名乗りを上への夢は消える。

一つひとつ壁を乗り越え

「二」で終われば今までの苦労も水の泡。滝沢は何としても歩行器を社会に広め、保証協会を



全国で行脚する歩行器の試作機

見返してやりたいと闘志を燃やす。幸い治療の実施から全国の公共施設が歩行器の無償供与を求めていた。しかしその時、手元には五十台の在庫しかない。全部売らないと次が製造できない状態。

とても供与はできず、滝沢は、ワゴン車に歩行器を積み込み、全国行脚に乗り出す。車に寝泊まりしながら多くの医者や理学療法士(P.T.)に歩行

器の意義を訴える。今その成果は出始めた。歩行器を売りたいと代理店が現れる一方、各地で老人日常生活補助用具の入浴補助用具としての措置事例や、補装具の製造業者として登録する業者も流れは変わりつつある。

(敬称略)
(二)の項おわり

道